

## 平成29年度 第4回松本市公共施設再配置計画策定検討部会 会議録

- 1 開催日時 平成30年3月27日（火）11時～12時
- 2 会場 松本市役所 第一応接室
- 3 出席委員 長瀬一治会長、平林大喬副会長、新井康弘委員、北村大治委員、  
中田和子委員、美谷島いく子委員、宮内浩司委員、三代沢二三恵委員、  
吉澤由紀子委員  
(以上9名)
- 4 事務局出席者 財政部長（高野一司）、  
契約管財課長（森本千嘉）、行政管理課長（市川英治）  
契約管財課課長補佐（清澤明子）、契約管財課管財担当（中野浩明）  
行政管理課課長補佐（田中史郎）、行政管理課係長（池上浩平）
- 5 次第
  - (1) 開会
  - (2) 議事
    - ア 再配置の理念及び施設誘導について
    - イ 圏域別再配置計画（案）について
    - ウ 計画の推進について
  - (3) 今後の予定
  - (4) 閉会
- 6 配付資料
  - (1) 松本市公共施設再配置計画（案）
  - (2) 施設利用・地区状況
- 7 会議録（要約）
  - (1) 開会（契約管財課長）
  - (2) 議事（進行：会長）
    - ア 資料説明（事務局）
      - （ア）再配置の理念及び施設誘導について
      - （イ）圏域別再配置計画（案）について

(ウ) 計画の推進について

イ 質疑・意見交換

**○会長**

ご説明いただいた「再配置の理念及び施設誘導について」「圏域別再配置計画(案)について」「計画の推進について」に関して、ご意見をお願いしたい。

**○委員**

51頁【緩やかに立地を支援する施設】小規模な店舗や個性的な店舗、身近な医療施設は、届出等の運用方法の工夫や支援策により緩やかに立地を支援する。という記載があるが、これは個人商店や開業医院を市が誘導する場合は支援をするといったことで良いか。

**○事務局**

都市計画に基づき立地誘導する際の税制優遇や、富山市のように、誘導する際に一定の補助金を出す自治体もある。50頁で公共施設の立地誘導に係る記述をしているので、混乱しないよう整理したい。

**○委員**

その地域のみで営業している優良企業が存続できる支援は良いこと。

**○委員**

50頁 地区の名称について：友人と話題になったことがあるが、東部、第1、第2、第3という地区名は、一般の市民に分かりにくい。名称変更は可能か。

**○事務局**

松本を35地区とし、地区公民館を整備する際、名称をつけたと思うので昔からのものではないと思う。

**○事務局**

かつての第4地区が東部地区となったが経過は不明。名称が変わる可能性はあるかもしれない。

**○事務局**

他地区は旧村名を引き継いでいるが、松本村を分けたことが原因かもしれない。担当部局には、ご意見を伝えたい。

**○委員**

計画全体としては良いと思う。

**○委員**

73頁の進行管理 PDCA は P(立案)D(実行)C(評価)までは行われるが、A(改善)が

あまり行われず、A を行ってもまた P に戻されないことが多い。非常に良い計画であるので、A を大切に、A から P に戻すことも難しいが真面目にやっていただきたいと思う。

### ○事務局

先日市民タイムスに人口減少社会を考えるというコラムがあり、「前例のない社会現象に対して前例踏襲の事業を続けていたら行き詰まるのは明らかだ。」ということに対して、「何事もやってみなければわからない。走りながら考えるのは行政の得意なところ」、といったくだりがあった。当然行き詰まることもあり、住民の理解を得られないこともあると思うが、分母を少なくし、%を上げることがないようにならなければならない。現在健全な行財政運営を行っているとは自負しているが、30年を見据えて様々な試行錯誤をし、A から P に戻していかなければならない。

### ○委員

誘導イメージに「当面は、」という文言が入っている等、非常にご苦勞されたのではないと思う。実際に計画を推進する際に、まるめていることにより地域で上手く議論が出来るか気になる。

71頁に高校生、大学生を対象としたワークショップを実施する旨の記載があるがこれは良いことだと思う。一方で、若い方は将来自分達の負担が増えることに拒絶的な反応をすることが予想され、また、今暮らしている住民の皆さんのことを踏まえた適切な意見を言えるかという疑問もある。もちろん住民ワークショップも行き渡りバランスをとっていくとは思いますが、若者の意見の注目度が高くなり強引に計画を進めていくことにならないことを願う。

### ○事務局

圏域別、誘導イメージの部分はセンシティブな部分なので、もう少しお時間をいただき、表現や伝え方を改め、皆さまに紙ベースでお送りし意見を頂戴したい。

### ○副会長

数か月前の新聞で、2033年に3戸に1戸は空き家になる、2044年には自治体の半数に減ってしまうというショッキングな記事があった。このような時期に市が問題を示唆していることは、時期にあっていることだと思う。

計画を進めることは良いことで市民も反対しないと思うが、市当局としては財政問題もからんでくることと思うので一般市民としては心配である。

### ○事務局

松本市は、計画行政の推進、健全財政の堅持を標榜し、きちんと運営してきている。博物館、病院、市庁舎等の建設も今後の計画の中で財源も含めて見据えているのでご安心いただきたい。

## ○委員

22 頁：アンケートの中で、公共施設等総合管理計画についても 8 割が知らなかったと回答している。施設にかかるコストや利用の実態に関するデータの分析評価の結果をわかりやすく開示し、またワークショップで理解を深めることが大切だと改めて思う。

## ○会長

長期的な人口減少も含めると、財務基盤も変化してくると思うので、意見調整は大変だと思うが、確固たる信念と危機感を持ち、財政を長期的に見通してほしい。

公共施設は、災害時に対応拠点となることが期待されている。防災計画や都市計画と整合性のある公共施設の再配置を進めて欲しい。

なお、委員の意見を即座に真摯に反映して下さったことに感謝したい。

- (3) 今後の予定（契約管財課課長補佐）
- (4) 閉会（契約管財課長）